



国道473号バイパス (金谷御前崎連絡道路)
(島田市竹下～菊川市倉沢)
菊川の風大橋 (3号橋)
2024.7撮影/撮影者:島田土木事務所

島田土木事務所 事業概要 2024



2024.7撮影/撮影者:島田土木事務所
二級河川 坂口谷川 地震高潮対策事業
(牧之原市福江)



美しい“ふじのくに”インフラビジョンに基づく施策展開

将来にわたって、県民が豊かで安全な暮らしが実感できる県土とするためには、県民をはじめとした関係するすべての人が、県土や地域の誇りを持って、一丸となり地域づくりを進めていく必要があります。
このため、「ふじのくに、未来の地域づくり」を基本理念とし、富国有徳の美しい“ふじのくに”の実現に向けて取り組んでいきます。

(基本理念)

富国有徳の美しい“ふじのくに”の実現に向けた「いっしょに、未来の地域づくり。」
～ 誇りと愛を持って県土を育み、静岡の明るい未来へ～

2022年3月に策定された美しい“ふじのくに”インフラビジョンでは、2050年の社会インフラの姿を見据えた上で、概ね10年間(2022年度～2031年度)の基本理念、課題や方向性を明らかにし、当初4年間に取り組むべき具体的な取組内容をプランとして示しています。
島田土木事務所が定める取組は、「安全・安心」、「活力・交流」、「環境・景観」の3つの柱を軸として施策展開をしており、美しい“ふじのくに”インフラビジョンの具現化を目指します。

安全・安心	活力・交流	環境・景観
<ul style="list-style-type: none"> ● 激甚化・頻発化、切迫する自然災害への防災・減災対策の強化 ● 持続可能なインフラメンテナンスの推進 ● 安全・安心な移動空間の確保の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能で活力あるまちづくりや農山漁村づくりの推進 ● 産業や交流を活性化させる交通ネットワーク機能の強化 ● 交流拠点となる港湾・空港の機能強化と利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然との共生と資源の循環利用の推進 ● 豊かな自然、文化、歴史に根ざした美しい景観の形成 ● 誰にもやさしく、快適な生活環境の形成
● 県民との共創 (Open Innovation (オープンイノベーション))		
<ul style="list-style-type: none"> ・3次元点群データの活用促進 ・Constructionの推進 ・公共交通への自動運転の導入 		
● 県土の共生 (Carbon Neutral (カーボンニュートラル))		
<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素化に配慮したまちづくりの推進 ・森林吸収源対策 ・カーボンニュートラル形成の推進 ・グリーンインフラの推進 ・環境建築物のZEH/ZEH+、ZEC/LEZ、ZEC/LEZ 		

島田土木事務所 概況

管内市町:管内には、4つの市と2つの町があります。
「志太地域」…焼津市・藤枝市
「駿原地域」…島田市、牧之原市、川根本町、吉田町
面積:1,209km²、静岡県:7,778km²の約15.5%
県管理河川:71河川(一級河川(大井川、菊川):33河川、38河川)
県管理道路:50路線(管理延長:627.1km、改良率83.6%)
(一般国道:3路線 148.9km、主要地方道:14路線 244.7km、一般県道:33路線 233.5km)



発行:静岡県 島田土木事務所 企画検査課
〒427-0019 島田市道悦5-7-1 (TEL) 0547-37-5272

(ver2024/8)

2024年度 島田土木事務所 重点施策



安全・安心

激甚化・頻発化する自然災害などから、命と暮らしを守る“強さとしなやかさ”を備える 県土づくり

→激甚化・頻発化、切迫する自然災害への防災・減災対策の強化→

●相良海岸 津波対策事業 (牧之原市地頭方～須々木、片浜)

東海・東南海・南海地震等により発生するレベル1津波から、人命及び財産を保全するため、防潮堤の整備を進めています。



●土砂災害対策施設の整備

土砂災害から人家や地域の社会・経済活動を支えるインフラを保全するため、砂防堰堤や擁壁工などの整備を進めています。



環境・景観

心の豊かさを感じることができるよう、美しい景観と良好な環境に満ちた“ゆとりある暮らし”を支える 県土づくり

→自然との共生と資源の循環利用の促進→ 誰にもやさしく、快適な生活環境の形成→

リバーフレンドシップ・アダプトロード



自転車走行空間の整備



県と市町がサポートする協働事業です。地域住民と協力しながら、きれいな川づくりや快適な道路づくりを行います。

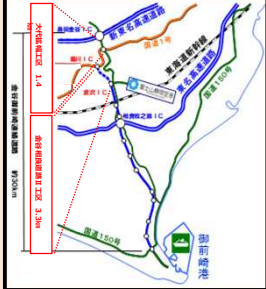
歩行者と自転車が錯綜することによる事故を防ぐため、自転車走行空間の整備を進めています。

活力・交流

地方創生に向け、陸・海・空の交通ネットワークを活かし、“地域の稼ぐ力”や“地域価値”を高める 県土づくり

→産業や交流を活性化させる交通ネットワーク機能の強化→

●国道473号バイパス (金谷御前崎連絡道路) (島田市竹下～菊川市倉沢)



「国道473号バイパスの整備により「陸、海、空の交通ネットワーク」が形成され、さらに物流ネットワークの強化や防災機能の向上などの効果が期待されます。

●志太中央幹線バイパス (藤枝市大手～藤枝市郡)



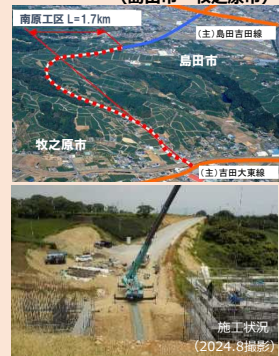
「国道1号数田西ICからはばたき橋を結ぶ志太中央幹線の「大手・郡工区」の整備を進めています。

●国道362号 富士城バイパス (川根本町富士城)



川根本町から静岡市までを安全で快適に結び、地域の発展に寄与させるため整備を進めています。

●県道吉田大東線バイパス (島田市～牧之原市)



「島田南部地域と牧之原地域の間のネットワーク向上及び交流促進」にむけ整備を進めています。